

【注意事項】

R20TS0412JJ0100

Rev.1.00

統合開発環境 CS+

2019.04.01 号

概要

統合開発環境 CS+の使用上の注意事項を連絡します。

1. 同一アドレスで別名を持つ特殊機能レジスタ（IOR）に、I/O ヘッダ・ファイル内の定義を使用するとコンパイルエラーになる注意事項

1. 同一アドレスで別名を持つ特殊機能レジスタ（IOR）に、I/O ヘッダ・ファイル内の定義を使用するとコンパイルエラーになる注意事項

1.1 該当製品

- 統合開発環境 CS+ V7.00.00～CS+ V8.00.00
- 【無償評価版】統合開発環境 CS+ for CC V7.00.00～CS+ for CC V8.00.00

1.2 該当 MCU

CS+に対応する RH850 ファミリ

1.3 内容

同一アドレスで別名を持つ IOR に、I/O ヘッダ・ファイル内に不要なコードを生成します。この不要なコードを用いてコードを記述した際、コンパイルエラーになる場合があります。

不要なコード例：

```
AAA.BBB.REGS8.BBBL.UNIT8
```

```
AAA.BBB.REGS8.BBBH.UNIT8
```

AAA：モジュール名、BBB：レジスタ名、BBBL：下位 8 ビット、BBBH：上位 8 ビット

1.4 発生条件

以下の(1)および(2)の条件をすべて満たす場合、BBBL が CCCL、BBBH が CCCH に変換されます。※しかし、I/O ヘッダ・ファイルでは、CCCL、CCCH が未定義であるため、コンパイルエラーになります。

※：I/O ヘッダ・ファイル内では、同一アドレスのシンボルに対して、次の#define が定義されます。

```
#define BBBL CCCL
```

```
#define BBBH CCCH
```

(1) BBBL が CCCL と同一アドレス、または、BBBH と CCCH が同一アドレス

(2) 条件(1)の BBBL、または BBBH を参照もしくは設定

コード記述：AAA.BBB.REGS8.BBBL.UNIT8

：AAA.BBB.REGS8.BBBH.UNIT8

- BBBL に 0x0 を設定するコード記述例
AAA.BBB.REGS8. BBBL.UNIT8 = 0x0;
- BBBH に 0x0 を設定するコード記述例
AAA.BBB.REGS8. BBBH.UNIT8 = 0x0;

1.5 回避策

以下のとおり、AAA.BBB.UINT8[L];または AAA.BBB.UINT8[H];と記述してください。

- BBBL に 0x0 を設定するコード記述例
AAA.BBB.UINT8[L] = 0x0;
- BBBH に 0x0 を設定するコード記述例
AAA.BBB.UINT8[H] = 0x0;

1.6 恒久対策

2019年1月リリースの統合開発環境 CS+ V8.01.00 では不要なコードを生成しません。

なお、CS+ V8.01.00 で作成した I/O ヘッダ・ファイルを使用しても、以下の例に示すコード記述があるとコンパイルエラーが発生します。その際には、1.5 回避策例のように記述してください。

- BBBL を 0x0 に設定するコード記述例
AAA.BBB.REGS8. BBBL.UNIT8 = 0x0;
- BBBH を 0x0 に設定するコード記述例
AAA.BBB.REGS8. BBBH.UNIT8 = 0x0;

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Apr.01.19	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。